

大野地区まちづくり協議会設立総会 議事録

- 1 日 時 平成31年1月18日（金）午後6時から午後6時53分
- 2 場 所 守谷市役所 大会議室
- 3 出席者 ・大野地区まちづくり協議会構成員52名（うち委任状12名）
・守谷市長 松丸修久（来賓）

4 議 事

- ① 第1号議案 大野地区まちづくり指針（案）について
- ② 第2号議案 大野地区まちづくり協議会会則（案）について
- ③ 第3号議案 大野地区まちづくり協議会役員（案）について
- ④ 第4号議案 平成30年度活動計画（案）について

5 議事経過概要及び結果

定刻に至り、司会者の豊谷如秀氏が開会を宣言した後、設立準備会中島会長が挨拶を述べた。

続いて来賓の松丸修久市長から、総会開催に当たっての祝辞が述べられた。

次に、中島会長から、資料「大野地区まちづくり協議会経過報告」をもとに、これまでの取組等について報告がされた。

審議に入る前に、議長及び議事録署名人の選出について諮ったところ、議長に高木保氏が、議事録署名人に椎名孝行氏及び長谷川禮子氏が満場一致で選出された。

議長から出席者数の報告があり、全構成員58名中、本人出席者数40名、委任状出席者数12名、合計52名の出席者数があり、委任状を含めた出席者数が、構成員数の半数を超えている旨の報告があった。

① 第1号議案（18時15分から）

議長は、提案者である中島会長に議案の説明をさせた。

質 疑：なし

採決結果：挙手多数により原案のとおり可決・承認

② 第2号議案（18時26分から）

議長は、提案者である中島会長に議案の説明をさせた。

質 疑：役員任期について「再任を妨げない」となっているが、再任回

数を設けないのか。同じ方が何年も継続して役員となった場合、権力が集中して弊害が出る可能性がある。そのため再任の上限を設けたほうが良いのではないか。

回 答：準備会での協議の際にも議論となったが、組織が成熟するまでは、協議会の円滑な運営を遂行する意味からも、当初から再任の任期上限は設けないことにした。活動・運営が軌道に乗ってきた時期には検討していくことになると思う。

採決結果：挙手多数により原案のとおり可決・承認

③ 第3号議案（18時38分から）

議長は、提案者である中島会長に議案の説明をさせた。

質 疑：協議会の活動・運営にあたり、市の方向性と協議会の方向性を一致させる意味から、市役所職員又は市議会議員を役員に加えてはどうか。

回 答：市の方向性と協議会の方向性がぶれないよう、市職員を「まちづくり協議会支援担当職員」として配置する予定である。

採決結果：挙手多数により原案のとおり可決・承認

④ 第4号議案（18時44分から）

議長は、提案者である中島会長に議案の説明をさせた。

質 疑：なし

採決結果：挙手多数により原案のとおり可決・承認

以上をもって設立総会の議案審議が全部終了したため議長が退任した。

最後に第3号議案で可決・承認された役員の紹介を行い、司会者の豊谷如秀氏の閉会宣言により設立総会は閉会した。

以上の総会議事経過概要及び議決結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次のとおり署名押印する。

平成31年1月21日

議 長

高木保 

議事録署名人

椎名孝行 

議事録署名人

長谷川禮子 